



**?** 次の場面を探してみよう! 次の場面は、ア~カのどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。

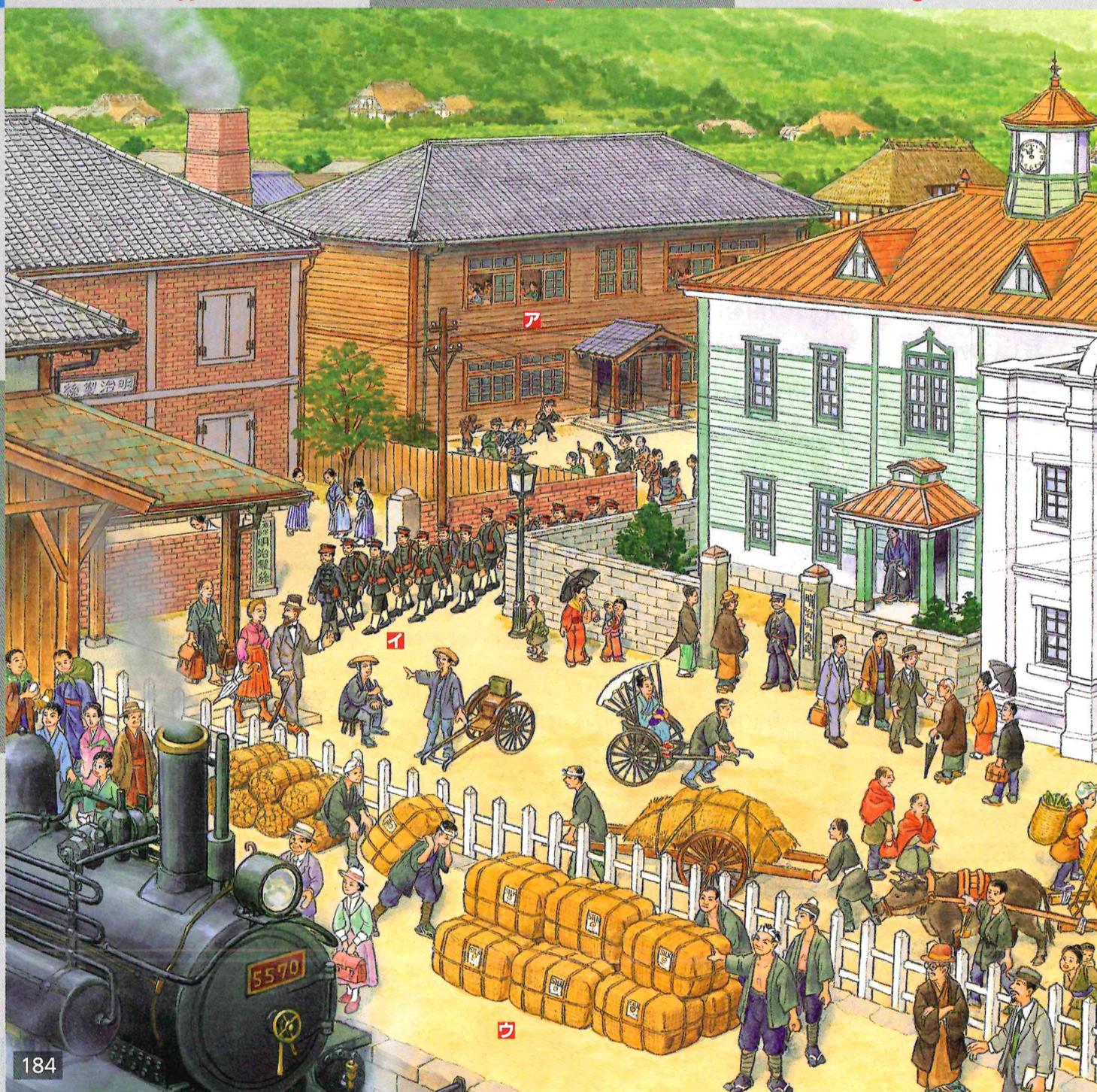
- ① たくさんの繭を、製糸工場に運んでいます。 ( )
- ② 町の奥に、西洋建築の教会があります。 ( )
- ③ 装備を整えた軍隊が、行進しています。 ( )
- ④ 子どもたちが、教室で授業を受けています。 ( )
- ⑤ 警察官が、力づくで演説会を中止させています。 ( )
- ⑥ 駅のホームに、「SILK」と書かれた荷物が積まれています。 ( )

**ヒント** ①→p.214 ②→p.191 ③→p.189 ④→p.190 ⑤→p.200 ⑥→p.214

A

B

C





きんたい  
近代にやってきました。町の様子が急速に変わり、より大きく社会の印象が変わったようです。ここは、明治時代のある地方都市です。ちょうど、町の中心部にある駅には列車が到着したようです。



### 見方・考え方

えど 江戸時代から明治時代にうつり変わって、どのような点が変わったのでしょうか。また、なぜそのような変化したのでしょうか。例えば以下の点などに注目し、周りの人と話し合ってみましょう。

- ・建物の様子や人々の服装
- ・場面⑦のような戦いの役割を担う人々

対話

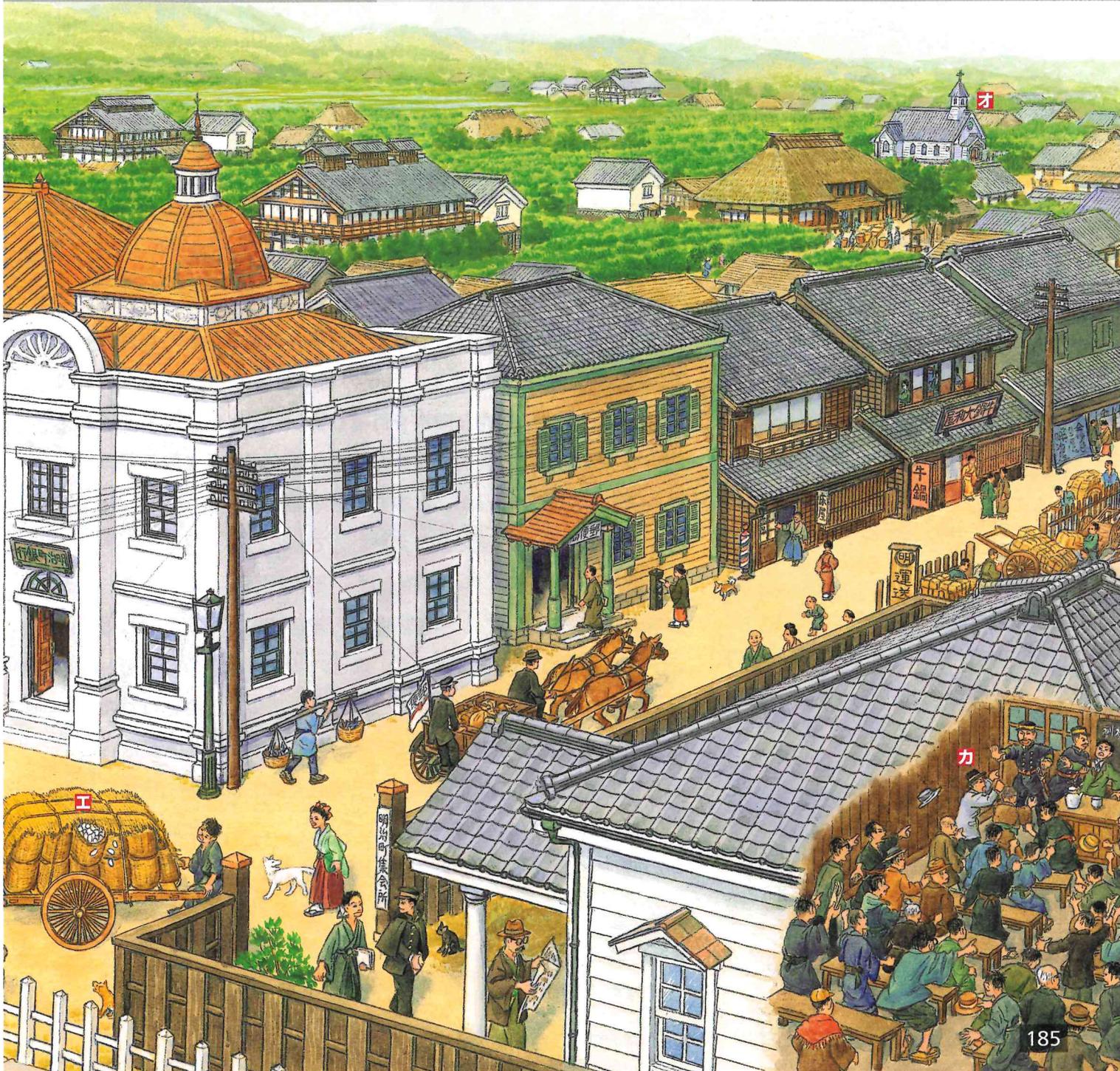
めいじ 明治時代に入って、まち並みや人々の様子が大きく変わったね。現在と似ている物はどれだろう。



D

E

F





## 歴史プラス 「鎖国」から「開国」へ

新政府は発足してすぐの1868年1月、軍備を増強して国の権威を輝かせ、議論を重ねながら外国と交際していきと宣言しました。この宣言の背景として、攘夷をやめて開国を進めることは、ともに倒幕・維新を成し遂げた尊王攘夷の志士からの反発を招くおそれがあったためでした。一方、外国の新聞は、新政府の発足とこの宣言を好意的に受け止めました。

### 新政府発足に対する海外の新聞論評

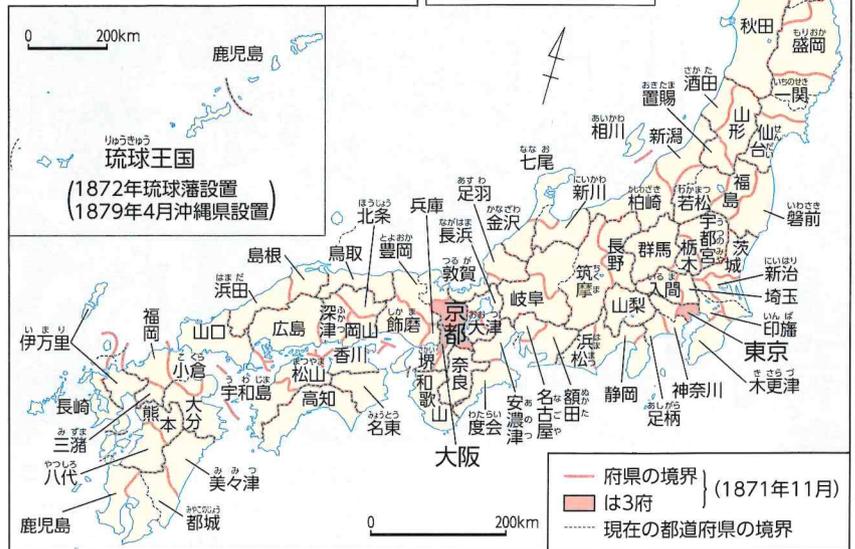
…新しい権力者は皆外国人に対して友好的な態度をとっている。…この急激な変化は西洋諸国にとって有利な結果をもたらすのではないかと思われる。…変革が実現すれば、新しい行政は優位に立ち、確固とした自分たちの地位に自信をもつのではないか。強力な政府があつてこそ、通商の拡大は可能となる。…

[1868年3月4日「North China Herald」]

↓**3** 廃藩置県 **地図帳活用** 現在の都道府県名との違いを地図帳で確認しよう。

### 府県の数の変化

1871年7月 3府302県  
↓  
1871年11月 3府 72県  
↓  
1888年 3府 43県



れました(藩閥政治)。新政府の統治が及ぶ範囲は旧幕府の支配地域のみで、それ以外の地域では、政治は各藩で行われていました。新政府が強い権限をもつ中央集権を確立するためには、4藩も含め、倒幕後もそのまま残っていた藩を廃止する必要がありました。そのため新政府は、1869年、土地や人民を天皇に返させ(版籍奉還)、71年には藩を廃止し、代わりに府・県を置く**3** 廃藩置県を行いました。東京・大阪・京都の3府には府知事が、県には県令(後の県知事)が新政府から派遣され、年貢はすべて国の収入になりました。

### 古い身分制の廃止

新政府は、江戸時代までの身分制を廃止し、天皇の一族を皇族、公家や大名を華族、武士を士族

とし、百姓・町人を平民としました。平民も正式に名字を名乗ることが許され、異なる身分間での結婚や、職業・居住などの自由も認められました。また、1871年の布告(いわゆる「解放令」または「身分制廃止令」)によって、江戸時代に差別された人々の呼び名が廃止され、身分・職業も平民と同じとされました。これにより古い身分制はなくなりましたが、国民全体がすぐに平等になったわけではありませんでした。新政府は、差別されていた人々の生活を改善する具体的な政策をとらず、長く続いた慣習や差別意識も簡単には改まらなかったため、結婚・就職・居住などに関する差別は根強く残りました。

### 未来に向けて 差別からの解放運動

人権・多文化

江戸時代にえた・ひにんなどとして差別された人々は、平民身分となる「解放令」を喜んで迎えましたが、それに反対する人も多く、差別された人々を襲撃する一揆も起こりました。「解放令」の後、主な仕事であった皮革業にほかの人々が参入したことにより、差別された人々の生活は一層厳しくなりました。それでも彼らはひるまず、国民としての平等を求め、解放運動を進めました(→p.241)。

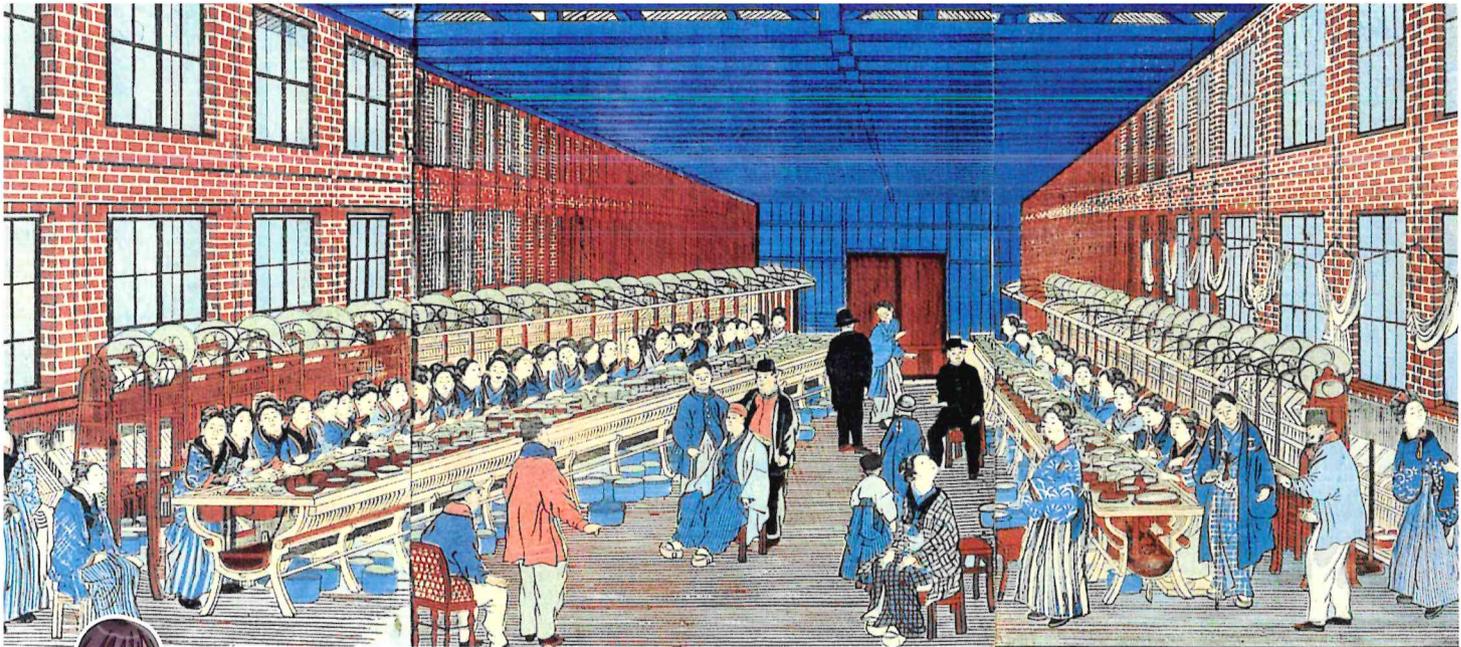


### ↑**4** 1872年の身分別人口の割合

**4** 新政府が行った政策を、本文から書き出そう。

新政府はなぜ廃藩置県や古い身分制の廃止を必要としたのか、江戸時代との違いに着目して説明しよう。

1	彌生
2	古墳
3	飛鳥
4	奈良
5	平安
6	鎌倉
7	室町
8	戦国
9	安土・桃山
10	江戸
11	明治
12	大正
13	昭和
14	平成
15	令和



江戸時代の綿織物の生産(p.178)と比べて、どのようなところが違うのかな。

↑1官営工場として建てられた富岡製糸場 重要な輸出品である生糸を製造するため、近代的な設備を整えた製糸工場のモデルとして、1872年、群馬県の富岡に建てられました。  
[長野県 岡谷蚕糸博物館蔵] 小地公

## 2 富国強兵を目指して

3節の問い 明治政府は、どのように国づくりを進めたのだろうか。

日本を欧米諸国に並ぶ強い国にするため、どのような政策が行われたのだろうか。



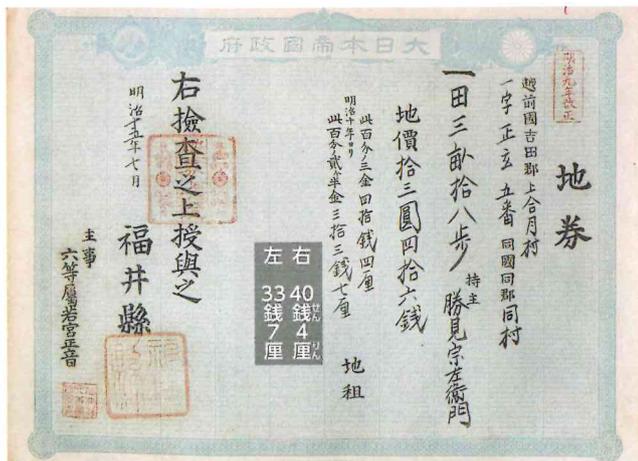
↑2統一の貨幣の登場(実物大) 1871年、それまでの貨幣制度が改められ、円が採用されました。1円は100銭、1銭は10厘です。74年当時、あんぱん1個は5厘、米1石(→p.118)は7円28銭でした。1880年の郵便料金は、7.5グラムまでの書状で2銭切手が必要でした。[東京都 日本銀行貨幣博物館蔵]

**富国強兵の政策** 新政府は、欧米諸国に劣らない強い国をつくるためには、国を豊かにして力をつけ、強い軍隊をもつ必要があると考え、富国強兵の政策を進めました。この政策の中心となったのは、産業の発展による経済力の向上(殖産興業)、西洋式の軍隊づくり(徴兵令)、改革のために必要となる財源を安定させる税制度の改革(地租改正)、そしてこれらの改革を担う人材を養成するための教育制度の採用(学制)でした。

**殖産興業** 新政府は、まず「富国」のため、お雇い外国人とよばれた外国人技術者や学者を招きました。欧米の進んだ技術や機械を取り入れ、各地に製糸・紡績などの官営工場や軍需工場をつくり、近代的な産業を育てようとしたのです(殖産興業)。

通信の分野では、1869(明治2)年、東京～横浜間に電信が開通しました。1871年には前島密らによって郵便制度がつくられ、全国均一の料金で郵便が利用できるようになりました。また、交通の分野では、翌72年に新橋(東京都)～横浜間、続いて神戸～大阪～京都間に鉄道が開通しました。鉄道は各地を結びつけ、多くの人や物資を運びました。その結果、都市も農村も大きく変化しました。

① 満17～40歳の男子は、徴兵令によって兵役が義務づけられました。そのうち、満20歳になった男子に徴兵のための身体検査(徴兵検査)を行い、その合格者の中から必要な人数を集めて、3年間の兵役を課しました。



↑3 地券(福井県文書館蔵) **資料活用** いつ、どこの県で発行されたものか、持ち主は誰か、地租はいくらと書いてあるか、読み取ってみよう。

### 地域史 土族の救済事業となった安積開拓

福島県の安積開拓・安積疏水開削事業は、土族の不満に悩まされていた大久保利通が、土族の救済のために開拓を構想したことから始まります。桑野村(現在の郡山市)には開拓の実績もあり、郡山に猪苗代湖から水を引く疏水が実現すれば、殖産興業にもつながると考えたからです。疏水は1882年に完成し、開拓も成功しました。この結果、郡山では多くの米がとれるようになりました。また、水力発電所もつくられ、この地域の製糸業を発展させました。

→4 収穫前の水田と安積疏水の水路(福島県郡山市)

1	彌生
2	
3	
4	
5	古墳
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	
10	平安
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土桃山
18	江戸
19	明治
20	大正
21	昭和
22	平成
23	令和

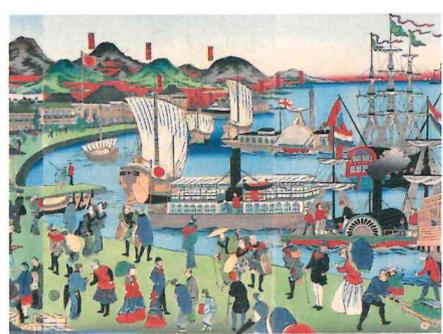
### 徴兵令の発布

新政府は「強兵」のためには、それまでの武士中心の軍隊ではなく、国民による西洋式の軍隊をつくる必要があると考えました。1873年に**徴兵令**を出し、満20歳になった男子から徴兵を行いました。しかし、多くの徴兵免除の規定があったため、実際に兵役に就いた人の多くは、農家の次男や三男たちでした。働き手をとられる農民のなかには、徴兵令に反対する人もいました。他方、土族は1876年に帯刀が禁じられ、俸禄(土族への手当)が廃止されるなど、これまでの特権が次々に奪われ、政治に参加することもできず、藩閥の政治家が政権を独占していることに不満をもつ人も増えていきました。

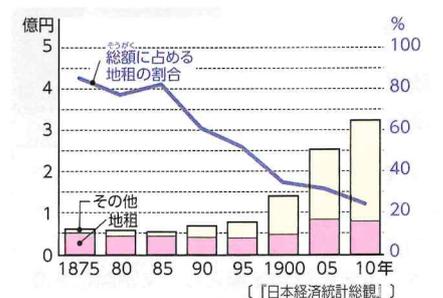
### 地租改正の実施

富国強兵を実現するために、新政府は安定した歳入(年度あたりの収入)を得る必要がありました。そのため新政府は、まず土地の面積を調査して地価(土地の値段)を定め、農民たちによる土地の所有権・売買権を認めて所有者に地券を与えました。そして彼らを地租(土地にかかる税)の納税者としてしました。さらに、地租の税率を地価の3%とし、それまでの米で納める方法ではなく、現金で納めさせました。1873年から行われたこの改革を**地租改正**といいます。

しかし、地租改正後も収穫高に対する地租の割合は江戸時代とあまり変わらず、小作人の土地所有権は認められなかったこともあり、政府に期待をしていた農民には不満が残りました。



↑5 発展する神戸港 兵庫(神戸)の港は1868年1月1日に開港し、関西の貿易港として急速に発展しました。【『摂州神戸海岸繁栄之図』兵庫県 神戸市立博物館蔵】



↑6 政府の収入と収入に占める地租の割合の変化

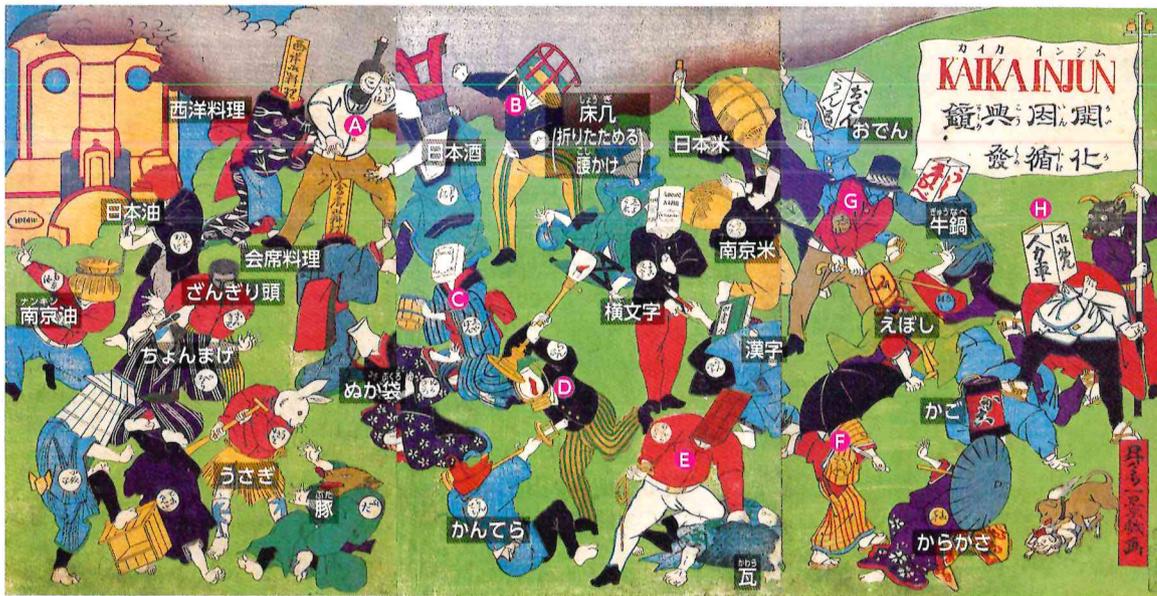
**確認しよう**

「富国」のために行われた政策と、「強兵」のために行われた政策を、本文から書き出そう。

---

**説明しよう**

富国強兵の政策の中から一つ選び、その政策が社会に与えた影響を、説明しよう。



【開化因循興廃鏡】香川大学図書館蔵 神原文庫資料

←1 外来の物と日本の物 欧米から入ってきた物と日本の物が争っています。さらに、日本の物と中国の物が争っている様子も描かれています。  
資料活用 日本の物と争うA~Hはそれぞれ何だろうか。

この絵は何を伝えようとしているのかな。



3

文明開化と新政府の政策

3節の問い 明治政府は、どのように国づくりを進めたのだろうか。



学習課題

新政府が進めた新しい政策や欧米の文化を、人々はどのように受け止めたのだろうか。

学制の発布

新政府は、「富国強兵」の政策と近代化を実現させるため、教育によって国民の知識を高め、人材を養成することにしました。1872(明治5)年、学制を發布して、6歳以上の子どものに教育を受けさせることを国民の義務とし、全国各地に小学校をつくりました。初めのうちは授業料を負担できず、学校に行かせない親が大勢いました。特に女子の場合は、家事の担い手という考えもあり、就学率はなかなか上がりませんでした。一方、77年には高等教育の場として、東京大学が創設されたほか、外国人教師を招いたり、留学生を派遣したりしました。

「文明開化」の下で

明治維新によって欧米の文化や生活様式が取り入れられ、外国と貿易する港や大都市を中心に「文明開化」が進みました。断髪し、洋服を着て靴を履くなどの変化がみられ、牛鍋などの牛肉を食べる習慣が広まりました。街の様子も変化し、ランプが使われて夜も明るくなり、東京を中心にれんがづくりの建物が登場しました。また、1872年に暦が太陰暦から太陽暦へと変更され、1日を24時間、1週間を7日、日曜日を休日とすることが定められました。このような新しい生活スタイルは学校や工場などを通じて、しだいに全国に広まっていきました。

思想の分野では、福沢諭吉や中江兆民らが、欧米で盛んだった「自

福沢諭吉

1834~1901

欧米の思想の

草分け 小地公



中津藩(大分県)出身の思想家・教育者です。幕末に三度の欧米視察を経験し、アメリカ独立宣言(→p.163)を翻訳するなど、日本に欧米の思想を導入し、文明開化を進めるうえで、大きな役割を果たしました。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」に始まる著書『学問のすゝめ』は、ベストセラーとなりました。また、慶應義塾を創設して人材を育成し、時事新報(図3)を創刊してジャーナリズムにも参入しました。イギリス型の議院内閣制や二大政党制の導入を訴え、実業や保険の重要性も説くなど、近代的な政治・経済のしくみをつくらうと努めました。

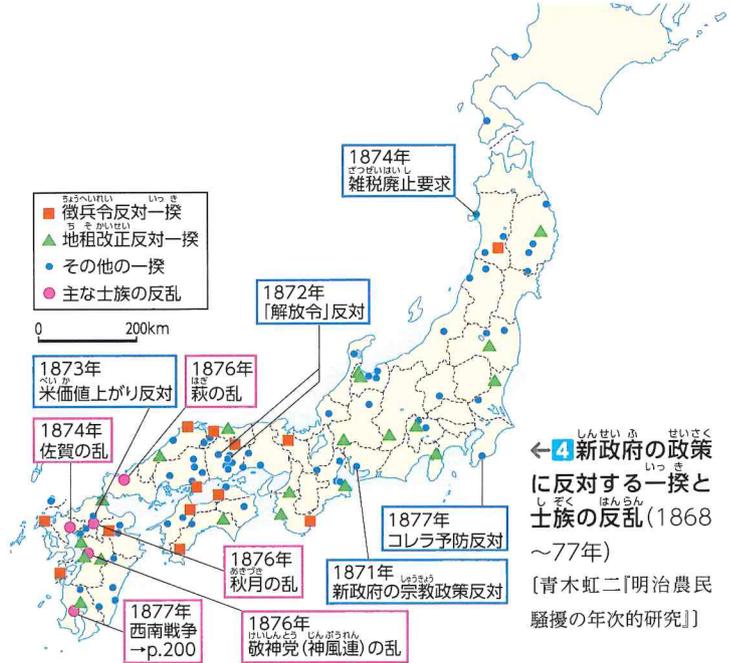
→2 洋装した明治天皇 明治になると、一人の天皇が一つの元号のみ使う一世一元の制が採用され、天皇は時代と結びつきました。明治日本が近代国家建設を進めるなかで、断髪をし、軍服を着た洋装姿の天皇は「文明開化」の象徴となりました。



←3 創刊された新聞 多数の新聞や雑誌が刊行され、盛んに演説会も行われて、人々が議論を交わす場となりました。新聞には、議会を開設すべきだといった意見書も掲載されました。



〔国立国会図書館蔵〕



←4 新政府の政策に反対する一揆と士族の反乱(1868～77年)  
〔青木虹二「明治農民騷擾の年次的研究」〕

由)や「権利」といった思想を日本に紹介しました。これらの思想は新聞や雑誌などによって広まり、人々の考え方に大きな影響を与えました。宗教の分野では、明治維新直後、神道を重んじる政策の影響で、仏教寺院や仏像が破壊されました。しかし、「文明開化」が進むと、新政府はキリスト教を含む信教の自由を認めていきました。

農村では、農作業に結びついた太陰暦が使われ続けるなど、「文明開化」の文化や生活スタイルはすぐには受け入れられませんが、少しずつ人々の生活は変わっていきました。

### 新しい政策への反応

徴兵令・地租改正・学制などの新しい政策に対しては、国民の強い抵抗もありました。

徴兵令に対しては、岡山県などで「血税一揆」ともいわれる農民一揆が起きました。藩閥の政治家が政権を独占し、人々の議論を無視していることに反発した士族も、政府に対して武力で反乱を起しました。その多くは、幕府を倒す主力であった西日本の士族でした。彼らの多くは、明治維新の精神が失われていることへの反発を抱いていました。

地租改正についても、茨城県や三重県で大きな反対一揆が起きました。政府は、軍隊によって一揆をしずめましたが、一方で農民の一揆が士族の反乱と合流することをおそれ、1877(明治10)年に地租を2.5%に引き下げました。

### 江藤新平

1834～74

近代日本の司法制度を整備

佐賀藩の出身で、新政府の近代国家建設の際に活躍しました。江戸を東京と改称して都の新設を提案したこと(→p.186)や民法の編纂に関わったこと、司法制度を整備したことなどが業績として知られています。しかし、江藤は征韓論をめぐる、西郷隆盛や板垣退助らとともに政府を去りました(→p.195)。そして1874(明治7)年、征韓論を排除した政府に不満をもつ士族などの求めに応じ、薩長中心の藩閥政府を倒して明治維新の精神を再び実現することを目指し、佐賀の乱(佐賀戦争)を起しました。

確認しよう

日本に取り入れられた欧米の文化を、本文から三つ書き出そう。

---

説明しよう

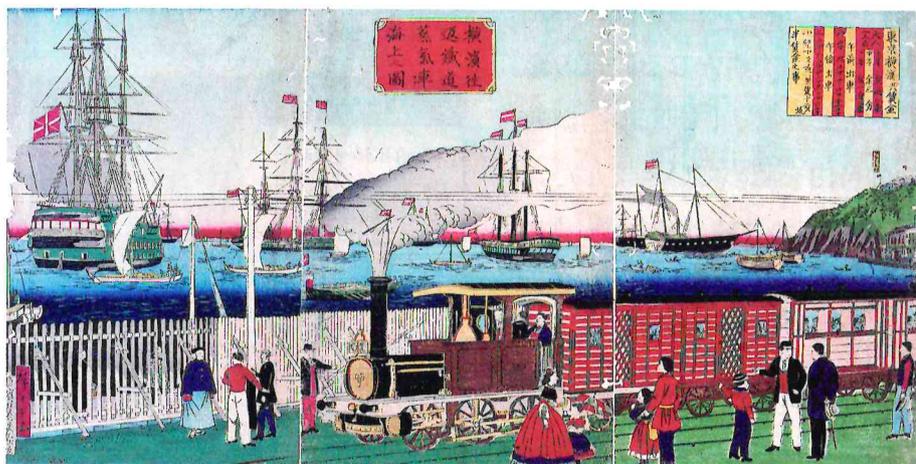
政府の政策や「文明開化」に、人々はどうのような反応をしたか、説明しよう。

## 1 横浜から広がった新たな文化



←1 横浜(1866年ごろ) 現在の横浜に残っている地名「関内」は、開港場の入り口にあった関所の内側という意味です。ここに架かっていた吉田橋は当時珍しい鉄の橋で、架け替えられながら現在も残っています。〔神奈川県 横浜市歴史博物館蔵〕

↓2 牛鍋を食べるざんぎり頭の男性『安愚楽鍋』東京大学法文学部附属明治新聞雑誌文庫蔵〕



↑3 開通したころの鉄道 1872 (明治5)年に、東京の新橋～横浜間の鉄道が開通しました。〔日本銀行金融研究所貨幣博物館蔵〕

→4 開港場が整備される前の横浜の様子(1859年) 右端の上部分が、現在のみなとみらい線の元町・中華街駅付近にあたります。中央部分には農村が広がっています。〔神奈川県 横浜開港資料館蔵〕



### 1 どうして横浜が港になったのかな？

アメリカから貿易港の開港を求められた幕府は、横浜を開港することに決めました。横浜と江戸を結びつけ、貿易の利益を江戸に集中させるためでした。また外国側は、東海道に近い神奈川港の開港を求めていましたが、幕府は東海道から離れた横浜を選びました。長崎の出島のように外国人と日本人の居住地を分離し、紛争を避けようとしたためです。商店が集まり、取り引きが始まると、外国人は横浜に居住するようになりました。

居留地の外国人のためにつくられていた物のうち、年とともに日本人の間に普及していった物があります。例えば有名な牛鍋は、居留地に住む外国人が料理したことが始まりといわれています。ほかにもアイスクリームやビールなど、さまざまな食文化が伝わりました。また、ガス灯や電信、郵便、鉄道など、欧米の優れた技術も横浜から取り入れられました。それらは国家的な事業へと発展し、今の私たちの生活へつながる、大きな変化となりました。



疑問

にちべいしゅうこうつうしょうやく よこはま  
日米修好通商条約によって横浜が開港したけれど、当時の横浜  
はどのような所だったのかな。また、文明開化を迎えたとき、  
横浜からどのような新しい文化が各地に広まったのかな。

主な関連事項と関連ページ

開国 p.180~181 殖産興業 p.188  
文明開化 p.190~191  
絹の道 p.216~217

## 2 外国商人の集まった街 横浜

[神奈川県 横浜開港資料館蔵]



↑6 生糸の品質を調べる欧米の商人

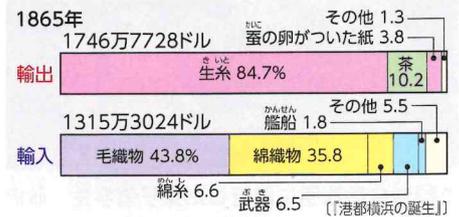
↑5 横浜港の様子 港外に停泊している本船からの荷物を小舟で税関へ運んでいる人々や、外国商館などが描かれています。このほかにも人々の関心の高かった居留地の様子は、錦絵の格好の題材となりました。[神奈川県 横浜開港資料館蔵]

→7 1872年の外国人居留地 図4と近い、山手の位置から同様の方向を撮影しています。手前の川から奥に外国人居留地ができ、港に多くの外国船が停泊しています。【資料活用】写真は、図1の地図内のどこからどの方向を撮影したものか、考えてみよう。



←8 全国に占める横浜港の貿易の割合 江戸という大消費地に近く、生糸の集積地でもあったことから、横浜の取引量が圧倒的でした。

→9 横浜港からの輸出入品 輸入された毛織物は羽織や軍服などに使用されました。



### 2 居留地はどのようなところだったのかな？

当時は、外国人に対する殺傷事件が多発していたため、幕府は開港場を海と川に囲まれた出島のようにしました。ここに外国商館や外国人居留地ができ、中国人貿易商も来住して今の中華街となる街ができました。外国人の外出できる範囲は、江戸方面は多摩川まで、その他は約40kmまでとされました。その後、外国人は景観が良い山手の丘陵に住むようになり、その一角に外国人墓地がつけられました。生麦事件(→p.182)の犠牲者の墓もあります。

横浜港に集まって出店した商人たちは、初めはどのような商品が売れるのか予想がつかなかったため、さまざまなものを店に並べました。開港当時は中国がイギリス・フランスと戦争中で、中国産生糸の輸出が減っていたため、生糸が高値で取り引きされました。その後も生糸の輸出は好調で、横浜港の輸出総額の80%以上を占める年もありました。これは横浜だけでなく、養蚕農家や製糸場などにも大きな影響を与えました。